



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 サッポロビール株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 時松 浩
コ ー ト 〃 番 号 2 5 0 1
上 場 取 引 所 東証プライム・札幌
問 合 せ 先 広報部長 白井 圭一
T E L 03 (5423) 7407

株主還元方針の変更（DOE 目標 5%以上への引き上げ・累進配当の導入） に関するお知らせ

サッポロビール株式会社（以下、「当社」といいます。）は、本日開催の取締役会において、「中期経営計画 2027-2030」（以下、「新経営計画」といいます。）の策定に合わせて、下記のとおり株主還元方針の変更（DOE 目標 5%以上への引き上げ・累進配当の導入）について決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 株主還元方針の変更の理由

当社は、資本市場との対話を重ねる中で、株主の皆様への適切な利益還元を経営上の重要施策と位置付け、中長期的な企業価値向上に向けた積極的な取り組みを進めております。

この一環として、安定的かつ持続的な利益還元の強化を目的に、2025 年に DOE 目標を導入し、2026 年より株式の流動性向上と投資家層の拡大に向けて株式分割を実施するとともに、株主の皆様への利益還元の機会の充実を図るため、中間配当を導入しました。

今般、新経営計画の策定に合わせ、さらなる企業価値向上と株主還元の拡大を目的として、株主還元方針を見直すことといたしました。

2. 株主還元方針の変更内容

（1）DOE 目標の引き上げ

安定的かつ持続的な利益還元を実現しつつ、配当の段階的な引き上げを目指し、新経営計画の最終年度である 2030 年の DOE 目標を従来の 4%以上から 5%以上に引き上げます。

（2）累進配当の導入

新経営計画の期間において、1 株当たり配当金の維持または増配を行う 累進配当を導入することで、安定的かつ持続的な利益還元へのコミットメントを明確にし、株主価値の向上を図り

ます。なお、新経営計画の期間における配当総額は 800 億円程度を予定しています。

（３）自己株式取得の実施

適正資本水準の実現による資本効率の向上を目的とし、機動的な自己株式取得を実施いたします。なお、2030 年までの自己株式取得の総額は 1,700 億円程度を予定しています。

（４）株主優待制度の拡充

株主の皆様との関係をより一層深めることを目的として、株主優待制度の拡充をいたします。詳細につきましては、本日公表の「株主優待制度の変更（拡充）に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上

株主施策の取り組みについて



- ≫ 2025年より株主施策を強化し、配当方針を変更、株式分割を実施、中間配当を導入
- ≫ 今般、さらなる株主還元の拡大と資本効率の向上を目的として、2030年DOE目標を4%以上から5%以上への引き上げ、累進配当の導入、自己株式取得の方針、株主優待制度の拡充を決定

今までの取り組み

配当方針の変更(2025年12月決定)

- 安定的かつ持続的な利益還元を目的としてDOEを導入
- DOE3%以上を目安とし2030年のDOE目標を4%以上に設定

株式分割の実施(2026年1月1日付)

- 株式の流動性向上および投資家層の拡大を目的として、普通株式1株につき5株の株式分割を実施

中間配当の導入(2026年6月末基準)

- 株主の皆様への利益還元機会の充実を目的として中間配当を実施

今回の決定事項

配当方針の変更

- 2030年のDOE目標を4%以上から5%以上に引き上げ
- 累進配当の導入(新経営計画期間の配当総額は800億円程度を予定)

自己株式取得の方針

- 適正資本水準の実現による資本効率向上に向け、2030年までに自己株取得総額1,700億円程度を実施予定

株主優待制度の拡充

- 株主の皆様との関係をより一層深めることを目的として、継続保有期間および保有株式数に応じた対象区分を拡充・新設

今までの取り組み

今回の決定事項

2030年

中長期

ROE8.0%以上へ

ROE10.0%以上へ

配当方針の変更
(DOE目標4%以上)
2025年12月決定

株式分割の実施
2026年1月1日付

中間配当の導入
2026年6月末基準

- ◆DOE目標5%以上に引き上げ
- ◆累進配当の導入
- ◆自己株式取得の方針
- ◆株主優待制度の拡充

株主施策の充実を通じて、資本コストを意識した経営を推進し、中長期的な企業価値向上と株主還元の強化、ならびに資本効率の改善を図る